

「マイクロ化・デジタル化のための原資料の解体・復元・容器収納」

対象資料…マイクロ化・デジタル化を必要とする公文書、簿冊資料など

資料のマイクロ化・デジタル化

アクセス頻度の高い資料や劣化・損傷の著しい公文書、簿冊等に対して、現物資料の状態を維持しつつ、広く情報を公開するためにとられる処置の一つとして、マイクロ化・デジタル化があります。マイクロ撮影やデジタル撮影を行うにあたっては、資料のオリジナルの形態のままでは細部までの鮮明な撮影を安全に行うことが困難な場合があるため、撮影に必要な見開きを確保する解体と、それに伴う復元が必要となることがあります。



解体



オリジナルの表紙を生かした復元



アーカイバルボードを用いた新規表紙での復元



新規表紙による復元と保存容器への収納

弊社における資料の解体・復元・容器収納

一連の作業は弊社工房内、あるいは持ち出しが困難な資料の場合は出向先にて作業を行います。事前に所蔵者様及び撮影者様と打ち合わせをし、本体をペラ（一枚もの）にする解体、または特定の厚みの束での解体など、過不足ない解体を行います。復元においては、オリジナルの表紙を活かした復元、アーカイバルボードを用いた新規表紙による復元、弊社の保存容器への収納など、所蔵者様の保存環境、保存計画に対応する形態での復元を行います。新規表紙の形態や復元の構造は各資料に応じたものを提案します。また、中性ラベル用紙を用いたラベル作成、保存容器への収納作業も一貫して行います。

□お問合せ

□発売元

株式会社 資料保存器材
Archival Conservation & Enclosures Co., Ltd.
〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-27-16
Tel: 03-5976-5461 FAX: 03-5976-5462
<http://www.hozon.co.jp> Email: mail@hozon.co.jp